七年一月下旬・ラングー の職闘終過はつぎの如し八鷹狀の築に輝く山本金吉中

壯烈、鬼神も哭く自爆

識がりは敵の心膽を寒からしめた荒鷲魂の權化であり、青崎飛行部隊はヒルマ航空襲遽戦に置観ら参加、明戦以

と多大の『貢献』をなした勇猛・部隊である【皇童=俳人織派に輝く山本中時(七)及び本参診職長】・歌歌・また本参豫行診職は労闘教験に参大の戦場をあげてのち祭・ビルマに『遠・韓記録離職に要進歌館に著種と書き

勇猛、兩荒鷲部隊の戦闘經過

擊墜破百十餘機關

軍省發表千月百年國時航空作

干リ 車月 頁六共刊夕朝日本

荒鷲魂の権化吉岡・本多兩飛行部隊

威狀は山本中

車輛千餘を屠る鬱 略直後、戦

文

の 三

+ 年

宇野浩二著

中村光夫著

尾崎紅葉全集(第二回)柳田泉編

野上彌生子 著

近代日本外交史

信夫清三郎 著

平瀨已之吉 著

維新經

重慶戰時體制論 計畫經濟理論

石濱知行著 土屋 清著

> 〒一 ::八 ○○ ₹: 00

土屋喬雄著

例所長)新

刊

(監算像)こを機械を行うたのも同四一府、民間の決意は盛めて楽園で間を訪問、南京職民の院送客な關 大東忠戦争主選に対するわが政制を訪問、西京、日本の大阪、田本の大阪の大阪、田本の大田、田本の大田、田本の大田、田本の大田、田本の大田、田本の大田、田本の大田、田本の大田、田本の大田 田本の大田 田田 田本の大田 田本の田本 田本の大田 田本の大田 田本の大田 田本の大田 田本の大田 田本の大田 田本の 【南京二日同盟】曹木國務大臣は「時大使官邸で記者職と詹見、つぎ 青木國務相南京で語る

やペグー

擬替東京一三五二番

成

齋藤茂吉著

左千

石丸. 悟平著

高 山 書 東京 八三八九三十年 東京 中東 八三八九三十

今日の日本の主婦として、

家庭食糧の軍隊食化

ことを避ける嫌ひがある。これ 例へばそのま 1食べ

府典獄徧 (七等) 補四大門

最 新

陸軍大將 興崎甚三郎 時局。青年

な警世の叫びを贈け!
に徹す憂國の言、高適の一書がこれだ。肺腑的の一書がこれだ。肺腑的でれた大眞崎の言、高適

仙台電話】陸軍部単校の状況

尾形侍從を御差遣

生繁を戻ちノム

既田兵艦のシツタ

北流是業機構が景間で設合

± □ ■ 攻 著次眞村西

淨闇を肅々・渡御の御列 昨夜、皇大神宮本殿還御の御

を召させられ三條懲典長御先尊申

金く見事な目をあるやうな観覧金く見事な目をあるやうな観覧 愛情の倫理 関田 三郎孝 受しそは関ふ母の唯一の武器である さまじき北海の夢と情熱の文學 0 **冰** 医二克

南洋の華僑受過人大郎著 明治 天皇 賞三 一下要 強み後端離

を 東 (日・三) 「坂洋灰郎著 女性の言葉常治治の防衛 最初の軍県運輸研究件である!

二地方増産に重點

資材勞務⇒優先配給

下期石炭對策情報局より發表

するため採炭能率の向上を押せ、下期における生産目標を商体

第三、四半期

に消航製者贈および荷主順各代表

無盡合同進捗

半島海運の

大轉換

徴用、供出は十月中旬すぎか

戦時温強の方途たる國家管理開系の一

實踐運動を强化

來月初旬に會議招集 制會 來月初旬に會議招集 制會

、年度總督府豫算 一億圓壓縮至難か 十月末までには査定を完了

大藏省へ提出は十一月早々か

大年度朝鰕藤嶺府射州豊計をはじめ岡藤高像質の純成は久能間掛出度現にして九月年はから歳明が収載しまった。 「大年度朝町総しては十月中旬に恵明嶼取を終り同月末までには東定を終了し十一分で九月年はから歳明縣取に入り駅高東郷のを託ぎつこめるが、総称常駅のは、行政階級門の北京には東定を終了し十一次年度朝鰕藤嶺府射州豊計をはじめ岡藤高像質の純成は久能間掛出度現に

新規重要事項極度に整理集約

がなされて対るが、さらにその戦日の整理集約が大議部において異郷され、新級重要重売については後城縁成大綱として 累離分差の 展師に置づき場示

の内容は全く壁礁し難に楓移をとつてゐるが、財務常尉の膨脹回謝方この能池たる惨瞥下に詠く結成過程においてまつ歌特色激厚なる明年 編成過程にまで戦時性格濃厚

影者の利便に資するもので從来除る税關手續の簡應化をはかり候像

祝倉庫または保祉工場に貨物を移

立に主の政権職会會をして他の各 東京電話」蟹廉朝保統制會の館 東京電話」蟹廉朝保統制會の館

。 一个公寓表教諭一正、鐵道局副參專處共和 一個日本時報信技師觀測以 一個日本時報信技師觀測以 一個日本時報信技師觀測以 一個日本時報信技師觀測以

東京電話」歌組決定の日 日本海運協會

決定した下脚の石炭対象に隣し左

學げて増産へ談發表

官民の總力を

岸西相

における施策を中心とするある、從つて本對策は一應 り石炭報脳の實をあげられんこ とを切望する次第である とを切望する次第である 丘左の人事関助を行つた(括弧は 輕金屬統制會異動

びに山口陵の輸送一元化をはか

石炭輸送會社 機帆船西日本

年内に創立

【東京第四] 昭和十七年度下期待 の五頭上に分れてゐるが、その今 飲料所の閣議決定に從ひ二日午後 ちゃに重視すべきは次の高観の確

特に今国は訓練部を設けて選士、から郡時の休憩を恵がし、又協っつて遂行して職つたのであるが、 宮窟時間が来てゐても職人の公

員の庇々ならぬ苦心が蘇せられて

こる等級世の概があつた、このな

一日商工省からも

五項の要綱發表

成功した選士、觀衆の訓練 第十八回奉賛體育大會を顧みて

網点をなし、競技賞施に協つても観示し、與へられた時間に一際に

き役員指揮の下に規律を

必めつらしくわたるはつかり 花すゝきなひく鷹野の夕空を

文化だより

凱銃豐今歌後作年

も明ら かでないが▲艦 製組



生産カ戦争

總督府辭令(計)

つたそのことが、後ながく朝 器である。

牛島の朝

《半島の戦士達》

職社が写作する『半島の職士選』 戦か日本シリーズ物として日本映

和野七年九月七日高記・新田万法の一番が出て年九月八日日高記・神野七年九月八日日高記・神里の一番が出てた。神里のでは、神野中万法の一番が出てた。

佐僧指真二六八三番めて申込物参、希望者は五日午前中ま

☆古田鑑賞の夕 四日(日)午後

こえけるかな

び歡の勞勤 秋の穫收

評いオ傷 判つゾがは し

オツ本舗

都 南 II.

1









! 0

我と病疾れ痛り後性や皮ぢ靴歯鼻顔

は





CALLEL BURNELLE STREET 神武剣星の見える **準禁治產宣告** 當和個別支質受退法看 預以受 齊 商差有什

當個實本相談機則正在 有明 經費 後定 今 行政收 利受情報》是提出兩本面 辨 和人手相數 副 夏 本企企立, 建设金金总金品科学器

故山本中尉

一功勞者更生勇士等表彰

譽の家庭へ

勤勞奉仕

本のは、うとの意識から歌歌を行ってれら歌歌迎は全国の鉄原軍人館・電歌王文などを聯を歌歌歌歌声を含されていまく、海炎に南えて、同歌原代表等歌名が一種となり、、緑国軍人と膝を合せてその郵直なるとなり、近人 は、大阪歌の中野指導、突にが影響を召が一種となり、「勝国事人と膝を合せてその郵直なるのは、「大阪歌歌の中野指導、突にが影響を召が一種となり、「勝国あるひは懸骸會の形式により、というないでは、「大阪歌歌のは大阪歌歌のを見ば町村などに乗込み、勝しめのは、「大阪歌歌のは、「大阪歌歌のは、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌歌歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌の は、 「大阪歌歌の は、「大阪歌の は、「大阪歌の は、「大阪歌歌の は、「大阪歌の は、「ない、「ない、」」 「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」」」 「ない、「ない、「ない、「ない、」」」 「ない、「ない、「ない、」」」」 「ない、「ない、」」」 「な

早害地へ贈る同情八十萬圓

義らか鮮全 集募を金捐

者としてでよく一神条然に壊んで、回顧を代表等吸名が一郡となり、者としてでよく一神条然に壊んで、国都を代表等吸名が一郡との解析な人が経済と、少に原味ったが、まる、別郷がは大な歴史を作れていまった。 (1 年間 大日歌も (1 年間 大日歌も (1 年間 大日歌 (1 年間 大田

一金三千圓也





西鮮化學株式會社淸算事務所





Manager and and the state of th

職地下夕ビ

製造發賣!

調査の

番部

た州ろしい河豚と人間の縦線との縛ひをそこに見

拭へとも去りやらぬ

哀れ、いのちに挑む

國報金貯 行銀蓄貯鲜朝蠶

衣 笠 産婦人科 医学博士 衣笠 茂 電本5912

日子附記スプザルトキハ清算ヨリ金ドセラルベク同僚 病腸胃瀉 蔥隨院入 **克城府元町二丁回** 電話 龍山 二六番





内-0-0(2)是加强者。 图5-00均均原



京城出張所 京 城•長谷川町



坂田久代さんの感激 生れたコミ子もやんつの五人職にんつし段明初男はつしてりの五人職に

全都行舊 忠南 忠北

たゞ妻の務め

内緒で貯金

C

パニカー 山南部南 中長店支

毎日二、三州は現金別訟が 毎日二、三州は現金別訟が

泥的にやらず貯金しよう。

女子職業學校第六回衛女子體鍊大會日程

26世間 爽やかな秋空のも 一名世間 変やかな秋空のも

班の體鍊會

龍山署司法係から親心の注意

張金を所有してあるためとも見

能の贈物

防空講習會

名譽の家や傷痍軍人などを

三ノ五中村ハル 水登浦町四二

陸軍病院へ

けふ軍人援護强化退間第一

B

十四条町七幡川勝之助世円を行って、五池田美代

リ番かれるやうにと改めて学を示してゐるので感では学を示してゐるので感では

同京城府聯盟

こ女ら純情の催し 女子師範、舞鶴高女の慰問計書

足どり輕く

歩く府民群

一 南い空氣を吸つて ミララ 密空のもと際を使って充

始まる『軍人撥職機調遇』の主数を形露する長唄『聽起帳 の樹一常整準『夜計質技』等の能

分會の催し

寮課長(砂所長)の訓示めい

賑かに行はれました、 袋問慰。 第一次 第一次

臨時競馬二

同夜々庭で秋季濃錬 つめっ 城南中県校では戦 民のの

が、さうした茶輛の心の底ま

丸 鋸

細田商事合資會社 電話問題八二 四五八二

歌夏新聞社診察所及 歴史博士 山田間尤賀田製薬 に完成す、 称上者目でる

春川】戦時下需要強着の一途を

を積極的に増産すべく企踊してやホウレン章、春菊等の適作物

【沙里院】 黃湘道器 神饌田の刈取式 嬉し

い野菜便り

江原道から舞込む

柑橘類の大量植栽

瀬させた

金雕一の好成績を示して

【全州】カト

鎌炭山へ慰問劇園

- キビが取色目~なる



甲斐計理車 は、 ・ では、 ・ で

大学師で表示と、 大学師で表示と、 大学師で表示と、 大学師で表示と、 大学師で表示と、 大学師で表示と、 大学師で表示と、 大学師で表示と、 大学のできた。 大学のできたた。 大学のできたたった。 大学のできたた。 大学のできたた。 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、

一日も上映像く少年)なる。

高野義時製作所

姓 名 在 社(三三県) 一號型(三行)

10000 其息場

京、田、宋、八 東内料金(前金) 林 別 「供 回税込 林 別 「供 回税公 林 園 「中 日税公 世級型 (市行) 名 裕 臺 四 世級型 (市行) 名 裕 臺 四 世級型 (市行) 名 裕 臺 四 世級型 (市行) 名 裕 臺 四

温井風小の 花葉見 く四季勇愛

遊信事業會館十月七日 (水)午 本的新食養道の確立へ の一億健民運動

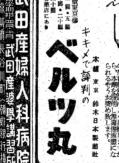
國防榮養學大講演會 後援國民總力朝鮮聯盟主催 京城日報社 櫻澤 如一 先生原理議究所長

愛の赤道温制作品を受作

化する瓦斯網接と切斷工法機のる金鵬作樂を競も耐勢







健康で られるやうお腹め致します。
ら、本剤を服用し無毒健康関になの病毒性疾患によく適應しますかの病毒治療の原門薬ベルツ丸は凡て

科科 **臺灣** 木材























肺病全治發 萬和堂藥局







中間では、 東東の変更に対している。 東東の変更に対している。 東東の変更に対している。 東東の変更に対している。 東東の変更に対している。 東西に対している。 東面に対している。 東面に対している。 東面に対し、 東面に対して、 東面に対して、 東面に対し、 東面に対し、 東面に対し、 東面に対し、 東面に対







食

專門大學



























職 國家管理を 断行

國策遂行に萬全期す

戦時海運管理令施行規則けぶ公布

新貝遞信局長談話

党部リニ十日 んとする頻繁と見られ、アルゼン さぬとの電雨を敷持してゐるやう日司思】フ の外院政衙に静會の歌万を及ぼさ あであり、静會の取粉的賦用を幹

英の石炭飢饉

敵船百六十一隻を撃沈す

当場【無單 名場【智氏 口 設施等軍

し眞劍

實物大の東京市模型 テキサス平原で爆撃演習

鬼戯せられたものである。去。してゐるのである。賭価の餘板を「を眩みた事實さへあるのである。 て減しつぎの次年鑑上に敵機敷機を强める「カは、わが本土空襲を度剣に伯國「東京市の複懇を襲作して「帰蔵臨」區、 飼学事化なので、今回の緊殺は「千九」から襲ち上りつ、ある繁慶アメリーたテキサス平県の一既に気勢大の「緊護路に難し」

東京空襲要圖→準備 が部郡東京を詳細に調査研究してれを一見する時いかに微等が

を試みを事質さへめるのである

事業の第二人統制については総断

總督、成興を視察

證券貯蓄

腦

0

病

企業投資·產業育品

不

眠

治療すれば氣持よく熟趣が出来る。できぬからです。リキシンで原因からです。リキシンで原因からです。リキシンで原因からでからい。

東京日本橋海運播角

肩

凝り

は、肩こりや弾れも自然に解消する。 シンで血の濁りを除き血行をよくすれ シンで血の濁りを除き血行をよくすれ でする場合を発き血行をよくすれ

實究研學化律令 直接 町本仁大區川港西市較大

青木國務相

便

秘

特よく便道なつけ卒中を駆防する。で加根を濁らし血壓を高めて卒中の原便を高いて卒中の原理を高いて卒中の原理を高いて卒中の原理を高いて卒中の原理を高いて卒中の原理を表した。管理の参繁

0

ツマイ

陣容全く成る

一千餘人

獨機の爆撃による損害

獨立達成を祈願 印度獨立聯盟比島支部

情報局、商工省から發表

獨空軍の至寶

と語る

時の録 正城坡上息端

町佐灌區東市阪大店本 **社會式株築製本日大**元遺製 町本區權本自市京東店支

班支討長) 野支店長) 小衛衛深唱

製作士 長井長森氏發見創盤

报 善 東 京 七 二 大 香 東京市京橋區西八丁

5) | 早 日夕め 番粉)二

モン精騰精薬 ・胸・胃の弱いがにく

「東心」関係の指揮、配着、配響、配響、企業のと地方、 は、普は大名の、選身業や、動脈の変差は、今はネルモン は、普は大名の、選身業や、動脈の変差は、今はネルモン があると、では、一般を増す、 があると、ではネルモン パートにあります。 「週分三側五十銭、 「週分三側五十銭、

以課職 P 唱息と咳嗽の強防と治療にエフエドリンが特殊の効果あることは今更周知のととでありますが、その作用が確實でもり、持續的である。に於てエフエドリン「ナガキ」は世上既に定許があります。今回生産の増加によつて何れの薬が、今回生産の増加によつて何れの薬が、今回生産の増加によって何れの薬が、今回生産の増加によって何れの薬が、今回生産の増加によって何れの薬が、今回生産の増加によって、

牌氣·倦息

の完全荣養化を計る。 ・ 場響に含有するB複合體 ・ 場響の響

東京大阪、田、邊 商 店100年

0

必ず立派な收穫を

陸軍見學團出發

米六萬俵を死守

ブ博士の献身的協力美談









学便です は歴切よく 験部は

冷えは禁物

京畿道の行事決る

橋本宇太

明月 3 働 ij

3 1 戦職家にに









世に誇 肺炎と 腹を整へて氣分して軽くなり 頭が

絶えざる生氣をつける 護身耍藥

慰問第一品

療を乗ねた機が法です。 増悪せぬうち加療を開始 増悪せぬうち加療を開始 増悪せぬうち加療を開始

するのも此のためです。 秋と共に恵者が原因です。 秋と共に恵者が原因で

時代に投資相談部開設